

3歳児から泥の感触を味わい、プリンに見立てたり、型抜きをしたりして遊んできました。また、色砂を作り、色の泥団子作りも楽しんできました。進級し5歳児になり、泥団子遊びへ向かうきっかけとして、これまでの経験を生かして遊びに取り入れられるように、絵の具やサラ砂が作れる砂場道具を準備しておきました。お菓子の地球グミのイメージから地球の色（青色）の泥団子作りに発展していきました。「泥でこうして遊びたい！」「こんな泥団子が作りたい！」と自分の思いをたくさん発揮し、泥遊びを楽しんでいます。



泥団子作りに挑戦！



泥、気持ちいい！



惑星泥団子

これが作りたい！



泥団子の遊びでは、触る、握る、丸めるといった動きから、手や指の発達を促し、身体的機能や感性を高めることにつながります。

思考力の芽生え

数量・図形、文字等への関心・感覚

社会生活との関わり



豊かな感性と表現

自立心



色砂泥団子できた！

幼児の思い



保育者の願い



- ・ピカピカの泥団子を目指してほしい
- ・継続して遊ぶ面白さを感じてほしい

泥団子を作り、遊び進めるうちに、「もっとピカピカにしたい！」「どうやったらピカピカ団子になるんだろう？」という思いが出てきました。そこで、ひととしぜんの博物館から泥団子博士に来ていただき、教えてもらうことにしました。



泥団子博士みたいな泥団子を作りたい！

泥団子博士



協同性

道徳性・規範意識の芽生え

幼児の思い



保育者の願い



- ・泥団子博士と同じピカピカの泥団子を作りたい！

- ・自分の作りたい泥団子のイメージをもち、イメージを実現するためにじっくりと試行錯誤してほしい

保護者の方も一緒に！



自立心



思考力の芽生え

ぎゅっとすると壊れるんだって

こわれても何度も挑戦！

泥団子博士のピカピカの泥団子に憧れ、やってみたい！の思いで取り組みましたが、すぐに壊れてしまいました。しかし、なぜ失敗したか、次はどうしたらうまくいくか幼児なりに考え、諦めることなく何度も繰り返し取り組みました。そして、最後まで作りあげた時に達成感や失敗してもやり抜く力を身につけることができました。保護者も一緒に楽しみながら取り組むことで、園の遊びが家庭での話題に上がり、泥団子作りの楽しさを共に感じ、遊びにじっくりと取り組む姿につながっていきました。